

1月1日(祝)

発行 市川市議会  
編集 議会運営委員会  
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111  
http://www.city.ichikawa.lg.jp/  
cou01/154100002.html

# いちかわ

# 市議会だより

市川市議会は毎年4回、2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。市議会だよりは5月、8月、11月、翌年2月の第2土曜日に各定例会号を発行(新聞折り込み)し、審議内容をお知らせしています。



(行徳の海から昇る朝日)

次の世代に誇れる  
活力と希望あふれるまちへ

# 迎春

## 「我が郷土市川」 住み続けたいまちへ全身全霊で努力

議長 加藤 武 央 浩  
副議長 松 葉 雅 浩

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかで希望に満ちた初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、市議会に対し深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年を振り返りますと、スポーツの祭典でありますロンドンオリンピックが開催され、市川市で生まれ育ち、現在も市内に住む三宅諒選手が、フェンシング男子フルール団体で銀メダルを獲得するなど、とかく暗い話題の多い世相の中で、大変明るい話題をもたらしてくれました。

また、本市におきましては、浦安市川市民病院の後継となる東京ベイ・浦安市川医療センターが2月に開院し、日常の診療はもちろんのこと、災害時の医療拠点としても大いに期待しているところでございます。

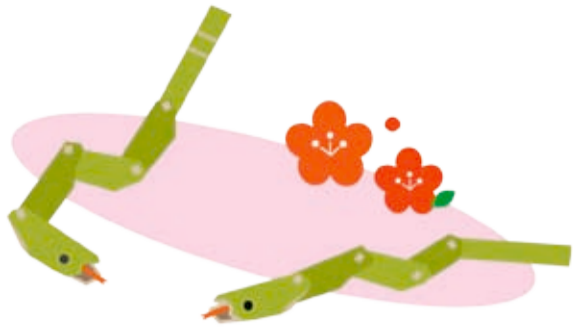
一方、欧州債務危機や中国の景気減速懸念など、世界経済は現在、混沌とした状況にあります。また、国内においても、製造業の競争力低下や少子化による市場規模縮小などの問題が叫ばれており、国はもとより本市の財政状況も極めて厳しく、政策的経費は限られた状況にあります。しかしながら、ここで立ち止まっている訳にはいきません。防災・放射能対策、道路交通整備、子育て支援、高齢化対策、教育改革など、皆様の日常生活に直接係わる身近な課題が山積しており、我々はこれらの課題に一つ一つ取り組み、市民生活向上のため、着実に前進していかなければなりません。

こうした中、市川市議会では、昨年、議会改革検討協議会を立ち上げ、「市民にわかりやすい、より開かれた議会」「効果的・効率的な議会運営」を目指し、鋭意議論を重ねているところでございます。

本年はこれらを形にし、市民の皆様が「我が郷土市川」として、このまちに住み続けたいと感じられるような、魅力的なまちづくりを推進するため、これまで以上に耳を研ぎ澄ませ、市民の皆様の声を市政に反映させるべく、全身全霊で努力して参る所存でございます。引き続き、皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。





平成25年

# 会派の抱負

市議会では会派制をとり、議会活動を行っています。ここでは、新年を迎えての各会派の抱負を掲載しました。なお、掲載位置は抽選により決定しました。また、文字数は所属議員数によって異なります。



※平成24年11月1日現在の会派の抱負を掲載しています。

## 議員の寄附や年賀状は禁止されています

議員は、お祭りの寄附、スポーツ大会の差し入れ、近所のお祝いなどや、年賀状等(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことが公職選挙法で禁止されています。

## 持続可能な市川市の「みらい」を創る

### みらい

金子	正	田中幸太郎
並木	まき	荒木 詩郎
岩井	清郎	寒川 一郎

新春のお慶びを申し上げます。我々「みらい」は会派名のとおり市川市の「未来」のために、本年も地域政治のリーダーとして邁進していく所存です。自治体の財政は今後も厳しい状況が

続くと思われ、これは市川市も例外ではありません。このような時代だからこそ地域政治、地方政治の成熟に向けた取り組みを進めるとともに、市民の思いや願いをしっかりと受け止め市政に反映してまいります。税の無駄遣いを引き続き徹底的に見直すことはもちろんのこと、予想より早く到来した少子高齢化に伴う財源不足を補うための市政運営の知恵を絞ってまいります。将来を担うことのための事業、これまでこの国を支えてくれた高齢者への事業、都市基盤整備、医療福祉、環境、動物と人間の共存など市民の皆様の生活に密着した施策に取り組みを進めます。国の政治は混沌としており我々国民にとつて不安と政治不信を煽るかのようですが、わたしたち「みらい」所属議員は一丸となって安心できる地方政治の実現を目指します。

## 人口減少 社会保障・子育て事業の充実を!!

### 自由民主党

かいづ 勉 佐藤 幸則 宮田かつみ

人口減少社会の到来と言われ、特にこの一、二年騒がれています。二〇六〇年には総人口が9千万人を割り、その約40%を65歳以上の高齢者が占めるとのマスコミの報道がありました。市川市を始め全国の自治体では税収減・職員の年齢のバラツキ解消、また国の構造変化等、今までに経験したことのない出来事を解決しないと現在の行政水準が維持出来なくなってしまう、特に高齢者・障害者・低所得者等の方々に大きな影響が出てまいります。そして市民は現在の生活に満足しながらも将来の生活に不安を抱えています。我々会派の所属議員はそれらを克服し地域住民の課題解決と全体的には財政・条例の整備に全力を傾注し市民の皆様「限らない幸せ!!」を願って日夜活動致す事をお約束し新年の挨拶と致します。

### 緑風会

竹内 清海 松永 鉄兵  
稲葉 健二 松永 修巳

市民の皆様新年あけましておめでとうございます。私たち緑風会は、市民の目線に立ち、市民の声を政策実現へとつなげていくことを日々実践していると共に、議会の中では是非々の立場で市議会の中核をなす会派として活動しております。ご存知のように、東日本大震災後、日本は過去に例を見ない様々な局面を迎え対応をしています。その影響は地方自治体である市川市にも大きく係わる上、景気の影響も含め厳しい財政運営を強いられております。

加えて、数々の課題に対して行政がしなければならぬことも増えております。この様な中、市民ニーズも多様な時代ではありますが、災害への対応力を高め、生活や福祉、教育の質を落とさず、お年寄りも安心して暮らせ、子どもたちの未来への支援も十分にできるように市政を進めるべく頑張っております。今後も皆様と共に「住みたくなる街」「安心して暮らせる街」を目指してまいります。

住みたくなる街・安心して暮らせる街へ

### みんなの党

石崎ひでゆき 増田 好秀

行政改革を  
より一層進めます  
謹んで新年のお慶びを申し上げます。みんなの党は戦う改革政党であり「ぶれない」「まげない」「くずれない」「不撓不屈」の精神をもって課題に取り組んでいる覚悟の政党であります。行政改革をより一層進めていく為にも皆様と共に頑張っていく所存でございます。

### 市川政友会

中山 幸紀

常にも市民の目線で  
謹賀新年。  
大野公民館エレベーター新設研修室増設実現。今までも、これからも常に市民と共に。  
今年も宜しくお願い申し上げます。

# 「平和」を合言葉に、環境・福祉の 充実に努めます

## 社民・市民ネット

かつまた竜大 秋本のり子 湯浅 止子

いまだに収束しない福島原発事故を私たちは忘れません。「脱原発」をめざしエネルギー施策に力を注ぎます。昨秋、中国・韓国との領土問題が噴出、「あわや」という不安をぬぐえません。そして国の政治の乱れは即、地方に響いてくることも身にしみました。本市の財政は義務的経費の自然増により厳しいものですが、「人権」のフィルターに掛け選択と集中に努め情報公開も進めます。少子高齢社会の時代に住み続けられる街として本市が市民のニーズを的確につかむ努力をするようにチェックしてまいります。待機児童の改善、高齢者施設の多様化を進めバリアフリーの街づくりに努めます。次代を担う子ども達の成長のために教育サポートにも重きを置きます。この一年の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

## 公明党

戸村 節子 中村 義雄 西村 敦  
浅野 さち 宮本 均 大場 諭  
堀越 優 松葉 雅浩

# 「大衆とともに」 市民の声を受け止め政策に生かす

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、温かいご支援を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。昨年は、防災対策が急務だとして、4月から市各地域で防災セミナーを開催し自助・共助・公助の重要性について学ぶ機会を設けていただきました。多くの市民の皆様から大きな反響が寄せられました。これからは、必要な社会インフラを整備し、女性・高齢者などの視点で地域防災力を強化してまいります。経済情勢が極めて不透明ななか、少子高齢化現象のみがクロスアッブされ雇用不安、老後不安等が高まるなか、市民にどのような夢と希望をもっていたのか、自治体行政の真価が問われております。私達は、こうした問題の解決方策や予算の決定にあたり、議会で政策論議をしっかりと行います。公明党は「大衆とともに」の立憲精神に基づき、これからも市民に密着してニーズ(要望)をしっかりと深くつかみ、将来の市民生活や市民の利益を見据えて、福祉・教育・文化・街づくりの政策を作り上げ「市民生活の向上」の先頭に立ちます。今年一年間の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

## 民主・連合

佐藤 義一 石原よしのり  
守屋 貴子

次世代が希望に満ち安心して暮らせる社会を  
新年おめでとうございます。内憂外患、決して明るい見通しを持っていない昨今ですが、こんな時だからこそ地域から変えていかなければなりません。私たちは、一般の勤労者や市民の声を一層市政に反映し、まじめに働く者が報われ幸せに暮らせる社会の実現をめざします。長引く景気低迷でますます市財政が厳しくなる中、税金の用途を厳しくチェックし、選択により行政サービスの充実を図ります。そして、次世代が希望に満ち安心して暮らせるよう、原発ゼロをめざす立場を明確にし、放射能対策、環境保全、子育て支援に取り組んでまいります。これから地方分権が進み、ますます地方議会の役割が大きくなっていくことから、わたしたち議員もよく勉強し政策立案の能力を高めてまいります。

## 日本共産党

金子 貞作 高坂 進 清水みな子  
桜井 雅人 谷藤 利子

# 命、くらし最優先の市政に 全力をつくします

3・11東日本大震災後、政治のあり方が問われています。福島原発事故後、原発なくせ、再稼働反対の声は日本国中に広がり、国会軽視の民・自・公3党合意による消費税率引き上げ、オスプレイの沖縄配備、TPP交渉参加などに反対する声が大きくなっています。この市川では党市議団が行った市政アンケートに対して、「保育園、特別養護老人ホームの待機者をなくしてほしい」「国民健康保険税、介護保険料を引き下げてほしい」「住宅リフォーム助成制度を作してほしい」、社会保障の負担が重いとの声が85%にも及び、市民の権利と人間らしい暮らし、平和、安心を求める声が寄せられています。特別養護老人ホーム待機者ゼロ署名は8000以上集まり、要望が高まっています。今年も国政選挙、県知事選挙、市長選挙などがあります。日本共産党市川市議団は今まで以上に、住民の願いに応え、政治の中心を変えるために頑張ります。

## 自由クラブ

井上 義勝 加藤 武央

# 「市民が市政の主演」

議員新年。外環、都市計画道路3・4・18号の供用開始予定まで残り3年余りとなりました。人口減少が実際のものとなった本市では、これら南北交通網を活かした街づくりと共に教育、福祉等魅力に富んだ取り組みが重要です。市民が市政の主演の視点で臨みます。

## ボランティア

鈴木 啓一

# 「やることは」やる

住み良いまちを市民と共に取り組んでまいります。本八幡A地区再開発事業一期工事(マンション40階・京成本社)いよいよ完成。

## 新生市川

小泉 文人 青山 博一

# 新しい行政の カタチを目指して!

平成25年の幕開けを謹んでお慶び申し上げます。私たち新生市川は、市民の「生命と財産を守る!」を合言葉にして、新しい時代にマッチした行政のルール作りに取り組んでいます。不慣れた市役所では無く、明るく行きたくなる市役所を目指して頑張っています。

市川未来の党

越川 雅史

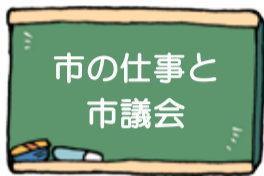
(平成24年12月3日届出)

# 市議会へようこそ

～市議会についてご紹介します～



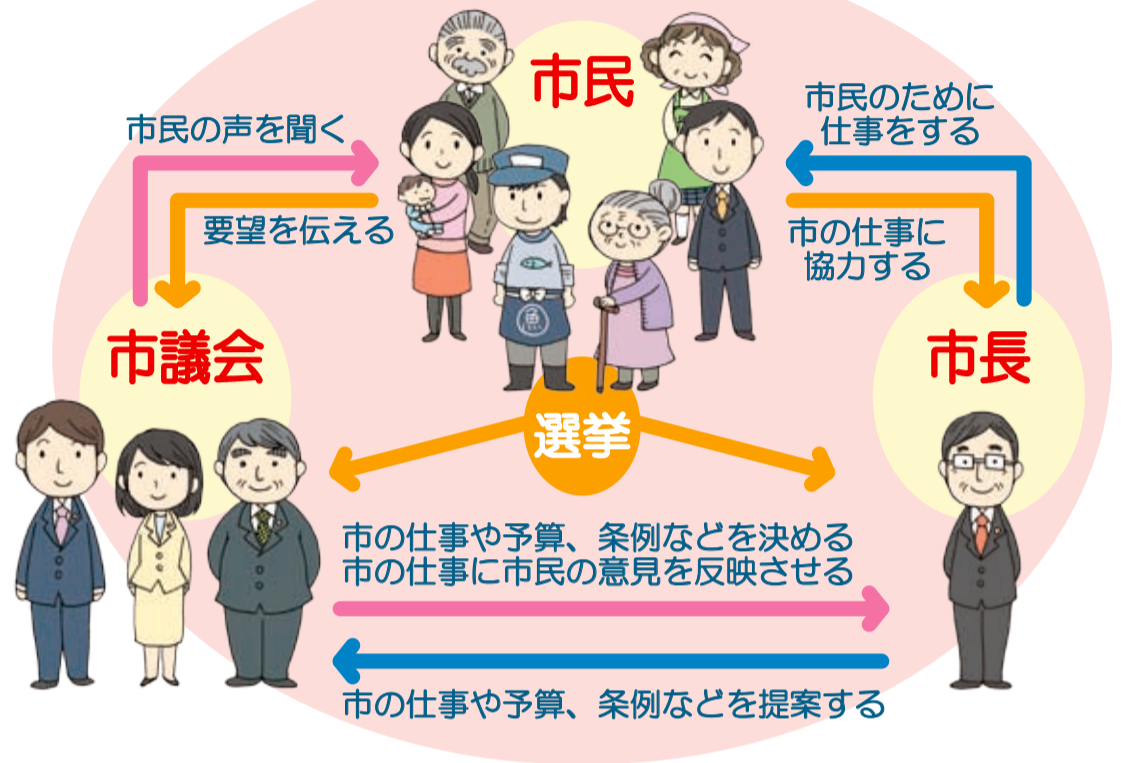
**市議会とは**  
市議会は、自分たちが住んでいる地域をよりよくするためにはどうしたらよいかを話し合う場所です。市民全員で話し合いができればよいのですが、大勢が同時に1か所に集まって話し合うのは難しいので、代表である議員を選挙で選び、代わりに話し合ってもらいます。



**市の仕事と市議会**  
地域をよりよくするために、市(市役所、消防など)は多くの仕事をしています。そこで、市民の目で「市がしていることは地域をよくするために役立っているのか」「今後地域のためにどんなことをするのか」など、市の仕事をチェックしたり、市へ要望や意見を出し、事業に反映させることが大切です。

市議会では、市民の代表である議員がこうしたチェックや要望・意見を出して市と話し合い、市がどのように仕事を進めていくかを決めています。

## 市民・市議会・市長の関係



### 【話し合いの進め方～本会議・委員会】

市議会では、

(本会議)

議員全員と市の代表が話し合ったり、議会全体の意思を決定(議決)する「**本会議**」や、



10名程度の議員と市の代表が話し合う「**委員会**」で話し合いを進めます。

(委員会)

本会議ではより多くの意見を聞くことができ、委員会ではより細かい話し合いをすることができます。



### 【話し合う内容～質疑と質問】

市議会の話し合いには、市が行おうとしている仕事に適正かどうかをチェックする「**議案質疑**」と、広く市の仕事について議員が質問や要望を行う「**一般質問**」があります。

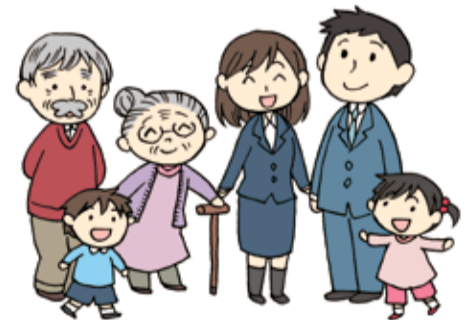
**議案質疑**では、あらかじめ市長や議員から出された提案(議案)がまず本会議で話し合われた後、内容ごとに委員会に送られ(付託)、委員会でそれぞれ詳しく話し合われます。その後、委員会で話し合った結果が本会議で報告され、提案を認めるかどうかを多数決で決定します。

**一般質問**では、市が行っている様々な分野の仕事について、議員が市に対し、現状や進み具合などを質問したり、市民のためにこうしてほしいといった要望などをします。



### 【話し合いの様子を見るには～傍聴・インターネット中継】

本会議を行う議場には105席の傍聴席が用意されています。また、委員会はそれぞれ7名まで傍聴することができます。市川市には4つの常任委員会のほか、決算審査特別委員会を含む3つの特別委員会と議会運営委員会があり、いずれも傍聴できます。会議の日程や議題については、市議会ホームページでご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。



傍聴に行くのは難しいという方は、インターネットで動画をご覧になってみてはいかがでしょうか。市川市議会ではインターネットで、本会議の様子をライブ中継と録画中継で配信しています。録画ではいつでも会議の様子を見ることができます。また、市議会ホームページでは議会で話し合われる内容や、過去に話し合われた結果などの様々な情報を掲載しています。この「市議会だより」でも、年4回の定例会ごとに、会議の概要などをお知らせしています。市議会の活動をぜひご覧ください。

○平成25年定例会開会予定日○

2月定例会	2月18日(月)
6月定例会	6月7日(金)
9月定例会	9月6日(金)
12月定例会	11月29日(金)

※上記は予定であり、事情により変更される場合があります。

市議会ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html>

議会中継ホームページ <http://ibs.city.ichikawa.chiba.jp/>